

不妊・去勢手術費助成事業

野良猫殺処分分数半減

市、来年度継続を検討



福井市は3日、福井健康福祉センターの本年度の猫の殺処分分数が月平均8・6匹となり、「野良猫の去勢・不妊手術費の助成事業」を始める前の2012年度(19・4匹)から半減したことを明らかにした。来年度の事業継続を検討する。

(土山実穂)

定例市会で西本恵一議成している。

員の質問に理事者が答えた。

同事業は、不幸な命を増やさないために、市がNPO法人福井犬・猫を救う会と協働で昨年度から進めている。去勢(約2万円)と不妊(約2万5千円)の手術費のうち雄4千円、雌6千円を助

処分数は12年度までは200匹前後で推移していたが、13年度は91匹(月平均7・6匹)、本年度は10月末までで60匹となっている。

野良犬については、市が1994年度から去勢・不妊手術費を助成し、殺処分数が減ったとして12年度末で事業を終えた。

福井健康福祉センターに持ち込まれた飼い主のいない猫。9月、福井市の同センター

同センターの年間の殺